

## 資料 6

西東京市公民館運営審議会  
令和3年度第2回定例会議

## 令和2年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和3年5月19日

NO	実施館	事業名	期間・回数	参加者数	学習成果	主な講師等
1	柳沢	くるみ学級	令和2年9月12日から 令和3年3月14日 第2・第4土曜日及び 第2・第4日曜日 各クラス全11回	延べ315人	コロナ禍であっても、学級生にとってはこの場が生活の一部として定着しており、参加し仲間と集うことで苦境の中でも楽しく過ごす時間を共有できた。	創作活動：井上千恵美・進藤幸枝（臨床美術士） ダンス：清水優華
2	柳沢	子育て中の外国人女性のための日本語講座（保育付き）	令和2年9月18日から 令和3年3月12日 金曜日 全22回	延べ153人	作文、会話、文法等、日本語を学習するとともに、幼稚園・保育園、PTA等、日本社会で暮らす上で必要な情報・知識を得たり、悩み等を話し合ったりする機会となった。	平成23年度および24年度実施の「外国人のための日本語講座」スタッフ養成講座”修了者。市内日本語教室ボランティア経験者。
3	柳沢	ムービールーム柳沢	令和2年10月14日から 令和3年3月24日 水曜日 全8回	延べ344人	・多様なジャンルの映画作品を上映。 ・特別企画は、ショートドラマ等の上映と講師の解説を通して、作り手の意図や映像表現という点から映画を鑑賞する機会となった。	上映作品解説：嶋野寛章（日本映画大学卒業） 特別企画：井坂能行（岩波映像顧問）、山本恵司（西東京シネマ倶楽部代表）
4	柳沢	郷土史講演会 ふるさとむかし探訪 こぼれ話 ～田無・保谷の歴史史料から見る村・人・社会～	10月17日 土曜日	48人	歴史史料にあたりながら、江戸時代の田無・保谷の村の有り様やそこに生きた百姓のすがた、農兵隊の活動から見えてくる幕末の社会について、学んだ。	行田健晃（成蹊中学・高等学校専任教諭）

5	柳沢	現代社会を考える講座 「戦後75年」と戦争体験継承の 課題 ～いま、沖縄から学ぶこと～	令和2年10月24日から 令和3年2月27日 土曜日 全5回	延べ150人	沖縄の4人の研究者、小説家の著作を 読み、その思索をたどることを通し て、戦後、沖縄が戦争体験の継承とい う課題にどのように向き合ってきたか を知り、そこから学びとれる戦争体験 継承の課題とは何かについて考える機 会となった。	戸邊秀明（東京経済大学全学 共通教育センター教授）
6	柳沢	地域防災講座 災害時にだれも孤立させないま ちづくりを考える Part 3 ～つながりをつくる、しくみをつ くる～	1月30日 2月20日 3月6日 土曜日 全3回	延べ44人	講義とグループワークを通して、全住 民を対象とした発災時の安否確認と要 配慮者の避難行動とその後の生活維持 への支援について、公助と共助の両面 から考えた。	小野修平（ジョージ防災研究 所代表、防災アドバイザー）
7	柳沢	家庭の教育力向上講座 講演「子どもの自立と子どもと の絆を育む関わり方」 ～思春期の反抗期を迎えるまで に知っておきたいこと～	2月20日 土曜日	35人	具体的な事例を織り込んだ講座内容で あり、子どもの自立に必要なこと、親 としてとるべき行動についてわかりや すく理解できるものだったので、参加 者がこれから子どもとどのように絆を 育んでいけばよいかを考える機会と なった。	木村宣貴（選択理論心理士、 「M&F Relations」、「子育てが 楽しくなるママカフェ」 代表）
8	柳沢	公民館について考える講演会 公民館はどういうところ？	3月14日 日曜日	11人	公民館のなりたちから、三多摩テー ゼ、2018年の中央教育審議会答申、 2019年の第9次地方分権一括法等ま で、公民館について、歴史と現状の両 面から学んだ。	荒井容子（法政大学社会学部 教授）
9	柳沢	春休み子ども企画 ものがたりの世界へ	3月28日 日曜日	22人	親子で、地域で活動する2団体による 朗読劇と活劇を鑑賞。子どもたちが地 域の大人の活動を知るとともに、2団 体にとっては、日頃の活動の成果を発 表する機会となった。	チームやぎさわ（朗読劇） アクションユニット戦's （活劇）

10	田無	あめんぼ青年教室	令和2年9月5日から 令和3年3月28日 第1土曜日 第4日曜日 全21回	延べ292人	コロナ感染症予防のため4月～8月の活動を中止したが、学級生やスタッフとあめんぼ通信や往復はがき、電話で近況を報告しあい、学級の学びを継続した。再開後は感染対策を学級生とともに考え、活動内容やワークショップについてもコロナ下でできる3密を避ける活動を主体的な話し合いで決定し、交流する喜びや活動を創りあげる達成感を得ることができた。	下田みゆき（音楽講師） 中村ひろみ（ダンス講師） しろみときみ（パントマイム講師）
11	ひばりが丘	開館30周年記念事業 第12回 ひばりが丘フェスティバル	①参加団体試写会 3月6日 土曜日 3回 ②一般上映会 3月27日 土曜日	①延べ64人 ②36人	サークル活動が充分に行えない中でも各団体が工夫をして発表の場を提供することができた。記録を残し上映するという新たな発表方法に挑戦することで、講師のアドバイスや実行委員の情報から新たな学びを得て、次回へ向けて日頃の活動に対する意欲を高めるとともに活動の幅を広げていく原動力となった。	森 英男（記録動画の撮影・編集及び動画作成に関するアドバイザー）
12	保谷駅前	健康づくり講座 脳トレで認知症予防	3月11日 3月18日 3月25日 木曜日 全3回	延べ57人	こうすれば絶対に認知症にならないという方法はないが、認知症になりにくい生活習慣を見つける良い機会となった。認知機能と身体機能は比例し、良い姿勢を保ち体幹トレーニングすることも、認知症予防になることが理解できた。	佐藤由布子（理学療法士、ヨガ・ピラティスインストラクター） 富士町・栄町地域包括支援センター職員
13	保谷駅前	防災講座 災害支援活動の体験からこれからの西東京市の防災を考える	3月20日 土曜日	9人	継続して防災に取り組む人、やや関心の薄れた人が混在する中、平時の日常活動から生まれる人との繋がりが、緊急時の拠り所として機能することを再確認した。次世代に向けた災害体験と記憶の承継と同時に、ICT(情報機器)を活用した防災の必要性を検討した。	小野修平（ジョージ防災研究所代表、防災アドバイザー）